|  |
| --- |
| ７０９７．輸入ＣＦＳ引取予定情報通知 |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＲＣＳ０１ | 輸入ＣＦＳ引取予定情報通知 |

１．業務概要

ＣＦＳから輸入貨物の引取りに先立ち、引取り側から引渡し側へ引取予定情報を通知する。

また、既に本業務により登録済の引取予定情報に対し、訂正を行う。

２．入力者

通関業、保税蔵置場、船会社、船舶代理店、ＣＹ、ＮＶＯＣＣ、海貨業

３．制限事項

①１Ｂ／Ｌ番号に対して本業務の通知可能回数は最大９９回とする。

②「輸入ＣＦＳ引取確認情報通知（ＲＣＴ０１）」業務が実施された情報に対する訂正は不可とする。

４．入力条件

（１）入力者チェック  
①システムに登録されている利用者であること。  
②訂正の場合は、登録時の利用者と同一であること。

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（３）貨物情報ＤＢチェック

入力されたＢ／Ｌ番号に対する貨物情報ＤＢが存在する場合は、以下のチェックを行う。

①輸入貨物または仮陸揚貨物であること。

②入力されたＢ／Ｌ番号が仕分親の場合は、「貨物情報仕分け（ＣＨＪ）」業務により登録された情報仕分親であること。

（４）貨物引取ＤＢチェック

訂正の場合は、以下のチェックを行う。

1. 入力されたＢ／Ｌ番号及びＩＤ通知枝番に対する貨物引取ＤＢが存在すること。

②「輸入ＣＦＳ引取確認情報通知（ＲＣＴ０１）」業務が行われていないこと。

（５）貨物引取受付管理ＤＢチェック

①入力された通知先コードに対する貨物引取受付管理ＤＢが存在すること。

②入力された通知先コードに対して設定された受付時間内＊１であること。

ただし、受付時間外に本業務を実施した際にエラーとせず、注意喚起メッセージを出力する旨が登録されている場合を除く。

（＊１）以下の①～②の条件を満たすことを受付時間内とし、条件を満たさないことを受付時間外とする。

① 当日対応可能表示が設定されていない場合（搬出依頼の当日対応不可）は、以下の条件を全て満たすこと。

・引取予定年月日が受付可能日＊2であること。

・引取予定年月日が業務実施当日でないこと。

・引取予定年月日が翌受付可能日であり、ＵＣＴ業務により搬出依頼受付終了時刻が設定されている場合は、本業務実施時刻が搬出依頼受付終了時刻よりも前であること。

② 当日対応可能表示が設定されている場合（搬出依頼の当日対応可能）は、以下の条件を全て満たす　　こと。

・引取予定年月日が受付可能日＊2であること

・引取予定年月日が業務実施当日であり、ＵＣＴ業務により搬出依頼受付終了時刻が設定されている場合は、本業務実施時刻が搬出依頼受付終了時刻よりも前であること

（＊２）受付可能日とは以下のとおり。（ＵＣＴ業務による受付可能設定）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 土曜日対応可能表示 | 日曜日・祝日対応可能表示 | 受付可能日 |
| ０：土曜日対応不可 | ０：日曜日、祝日対応不可 | 平日のみ受付可能 |
| １：土曜日対応可能 | ０：日曜日、祝日対応不可 | 平日及び土曜日受付可能 |
| ０：土曜日対応不可 | １：日曜日、祝日対応可能 | 平日及び日曜日・祝日受付可能 |
| １：土曜日対応可能 | １：日曜日、祝日対応可能 | 全日受付可能 |

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）ＩＤ通知枝番払出し処理

入力されたＢ／Ｌ番号に対するＩＤ通知枝番を払い出す。（「０１」～「９９」まで）

（３）貨物情報ＤＢ処理

入力されたＢ／Ｌ番号に対する貨物情報ＤＢが存在する場合は、本業務が行われた旨を登録する。

（４）貨物引取ＤＢ処理

　（Ａ）新規登録の場合

入力されたＢ／Ｌ番号及び払い出されたＩＤ通知枝番に対する貨物引取ＤＢを作成する。

　（Ｂ）訂正の場合

入力されたＢ／Ｌ番号及びＩＤ通知枝番に対する貨物引取ＤＢを入力された内容で更新する。

（５）出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

1. 注意喚起メッセージ出力処理

下記の条件のいずれかを満たす場合に、注意喚起メッセージを出力する。

①通知先コードに入力された利用者が保税蔵置場またはＣＹの場合で、運送中の貨物が入力された。

②通知先コードに入力された利用者が保税蔵置場またはＣＹの場合で、蔵置中の貨物が入力された際に、当該貨物が蔵置されている保税地域を管理する利用者コードと入力された通知先コードが異なる。

③以下の条件を全て満たす場合。

・通知先コードに対してＵＣＴ業務により受付終了時刻が登録されている。

・ＵＣＴ業務により受付時間外に本業務を実施した際にエラーとせず、注意喚起メッセージを出力する旨が登録されている。

・受付時間外に本業務が実施された。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 処理結果通知 | なし | 入力者 |
| 輸入ＣＦＳ引取予定登録通知情報 | 以下のいずれかを満たす場合  （１）新規登録である  （２）訂正の場合で、通知先が訂正された | 入力された通知先 |
| 輸入ＣＦＳ引取予定訂正通知情報 | 訂正の場合で、通知先が訂正されていない | 入力された通知先 |
| 輸入ＣＦＳ引取予定削除通知情報 | 以下の条件をすべて満たす場合  （１）訂正である  （２）通知先が訂正された | 訂正前の通知先 |